

令和元年度（2019年度）事業報告書

横須賀市産業振興財団は、平成5年11月の設立以来、横須賀市産業交流プラザを拠点として本市産業振興の取り組みを進め、平成26年4月に公益財団法人として組織体制を改変しました。

令和元年度は、横須賀市IoT導入支援事業を推進するとともに、経済産業省から選定されている「横須賀市IoT推進ラボ」事務局として、時代に即応する新たな業務を担うとともに、国・県の支援策も活用しながら市・商工会議所等の関係機関・団体と連携し、既存の中小企業に向けた経営支援、創業者支援及び起業人材育成支援をはじめ当財団の専門性・機動性を発揮して諸事業を展開しました。

今後も、企業の経営革新や創業者成長支援等をはじめとする各種研修事業、交流事業及び相談・アドバイス業務を通じて、本市産業の一層の振興を図るとともに、三浦半島地域の中小企業勤労者の福利厚生への更なる充実に向けた事業を展開します。

1 事業の概要

(1) 公益目的事業

ア 産業振興に関する交流会、シンポジウム等の開催（交流事業）

支出額 1,701,497 円

(ア) 異業種交流グループの活動支援（補助）

企業間連携によって新たな事業起こしを目指す異業種交流グループの活動に対して、活動費の一部を補助するとともに、定例会に随時参加し、アドバイスをを行った。

- ・横須賀地域研究機関等連絡協議会

(イ) 産学連携・産業経済人交流会の開催

大学研究者と企業経営者、技術者、創業者が情報交換を行うことにより、相互の理解を深め、新たなビジネスチャンスの創出を図るため、農業IoT座談会や産学官連携イベント等の終了後に交流会を開催した。

- ・期 日 4/9・5/17・6/11・7/5・7/28・7/31・8/13・8/28・9/7・10/3・10/8・10/23・11/8・11/16・11/17・11/29・12/3・12/7・12/10・12/16・1/17・2/12・2/27
の23回
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ、神奈川県立保健福祉大学（7/31）、MEAT & VEGE LAUGH ラフ（8/28）、横須賀ビール（10/23）、YRP ローズテリア（1/17）
- ・参加者 大学研究者・企業関係者等延べ459名

(ウ) 地域を越えたビジネス交流会への参加

県内の5産業振興財団が市域を越えた企業間の交流を促進するため、それぞれの財団が主催する事業について互いに啓発に努めた。

- ・構成機関 (公財)横須賀市産業振興財団、(公財)横浜企業経営支援財団、(公財)川崎市産業振興財団、(公財)相模原市産業振興財団、(公財)湘南産業振興財団
- ・内 容 川崎市産業振興財団「かわさき起業家オーディション ビジネス・アイデアシーズ市場」後援

(エ) 中小企業支援フォーラムの活動支援

女性起業家を目指すグループや産学連携の自主的な活動、市内工業分野の企業経営者によるIoT導入研修会に対して、運営のアドバイスとともに広報、会場使用料及び開発経費等の支援を行った。

- ・対象 ①女性起業家応援団“WITH”
②横須賀ガジェットラボ研究チーム
③横須賀三浦地区工業経営研究会

①女性起業家によるセミナー・勉強会の開催（WITH主催・財団後援）

ファイナンシャルプランナー、アートセラピスト、メイクアップアーティスト、フラワー講師等、自らのスキルを活かして起業家としての成長を目指す「女性起業家応援団“WITH”」が行う対外的なセミナー・交流会とメンバー間の勉強会を次のとおり開催した。

コーディネーター：(株)フォワード・グッド代表取締役・中小企業診断士 原賢治

セミナー・交流会 4/20・6/22・7/27・8/31・10/26・11/29・12/1・1/25 計8回

参加者：延べ115名

勉強会 5/18・9/28・2/21・3/22 計4回 参加者：延べ30名

②横須賀ガジェットラボ研究チームによる開発試作の支援(木皿直規コーディネーター主催)

横須賀ガジェットラボ研究チームの開発・試作に必要な機材・部品・ソフトを購入した。

チーム構成員：木皿コーディネーター、研究者、開発者、企業経営者等 計9名

開発試作の会合：平成31年4月～令和2年3月まで計33回 参加者：延べ102名

③横須賀三浦地区工業経営研究会

製造業の経営者で構成される同研究会において研修会を開催し、IoT導入による製造現場の生産性向上をテーマに中小企業導入事例及び当財団IoT導入支援メニューを紹介した。

- ・期日 令和元年8月28日(水)
- ・参加者 9名

(オ) ハッカソン※(ICT関連)

横須賀市内にICT関連企業・人材の誘致や育成を図るとともに、研究機関や観光地など横須賀ならではの資源に注目し、ICTを活用した新たな事業興しのヒントを得るため、ハッカソンとアイデアソン※を12回に渡り開催した。また、ハッカソンの成果は、展示会CEATEC2019における動画放映及びプレゼンテーション(計4回)により発表した。

なお、この事業は、平成27年7月1日から当財団が事務局を務めている「ヨコスカバレー構想実現委員会」のハッカソンユニット事業と連携して実施した。

(※) ハッカソンとはハック(Hack)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

(※) アイデアソンとはアイデア(Idea)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。

a よこすか猿島ハッカソンの開催

- ・期日 10/4・10/5(全2回)
- ・場所 16Startups・猿島公園
- ・主催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共催 (株)ニフコ・(株)トライアングル・UDC2019神奈川ブロック
- ・協力 ヨコスカバレー構想実現委員会ハッカソンユニット
(株)ブルジャパン・(株)NTTドコモ
(一社)コード・フォー・ジャパン
- ・運営 タイムカプセル(株)
- ・後援 横須賀市
- ・参加者 13名(大学生・大学院生、社会人)

・内 容

1 日目はアイデアソンを実施した。観光マップを素材に「オノマトペ」(擬声語)を使ったキーワードを付箋に書き出す手法で、横須賀のイメージ・魅力の創出アイデアを可視化した。

2 日目は「猿島」へ渡り、開発メンターのサポートを受け、3 グループが観光資源「猿島」の自然を体感しながら各種センサーを活用した IoT アプリを開発。その後、開発したアプリのプレゼンテーションと表彰式を行なった。

ファシリテーター：(一社) コード・フォー・ジャパン 地域アドバイザー 市川博之
(一社) シビックテック・ラボ理事 市川希美

b Web×IoT メイカーズチャレンジ 2019-20 in 横須賀の開催 (協力団体として)

・期 日 11/23・11/24・12/21・12/22 (全4回)

・場 所 YRP センター2 番館、関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス

・主 催 総務省関東総合通信局、Web×IoT メイカーズチャレンジ横須賀運営委員会

・後 援 スマート IoT 推進フォーラム、横須賀市 IoT 推進ラボ

・協 力 (公財) 横須賀市産業振興財団、防衛大学校、電気通信大学、関東学院大学、神奈川工科大学、(株) ステップ、日本ノーベル(株)、Silicon Labs、京浜急行電鉄(株)、(株) ジェイコム湘南、(株) 電波タイムス社、(株) 横須賀テレコムリサーチパーク、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、国立研究開発法人情報通信研究機構、横須賀市、ヨコスカバレー構想実現委員会

・参加者 25名

・内 容

電波リテラシーや IoT の基礎等を講習で学び、IoT を活用した「横須賀の魅力を高める・広める」をテーマにした作品づくりを行い、チーム毎に出来栄を競うイベントを開催した。

・講 師 電気通信大学 准教授 安達宏一
(株) ブール・ジャパン 営業部 主任 篠田有崇
神奈川工科大学 准教授 山崎洋一

c ろぼてユニット×女子美術大学アイデアソンの開催

・期 日 令和元年9月10日(火)

・場 所 横須賀市産業交流プラザ・汐入谷戸地区

・参加者 17名

・内 容

地域コミュニティに馴染み愛されるロボットをデザインするため、ろぼてユニット(ヨコスカバレー構想実現委員会でロボティクスを推進するユニット)メンバーが女子美術大学の学生と共に、汐入谷戸地区をフィールドワークした後、3 グループに分かれてデザインアイデアを練るワークショップを開催した。

ファシリテーター：女子美術大学 芸術学部長 教授 松本博子
(株) レベルエンター プランナー 小林愛海

d ヨコスカバレー構想実現委員会・横須賀市 IoT 推進ラボ定例会でのアイデアソン開催

・期 日 4/9・6/11・8/13・10/8・12/10 計5回

・場 所 横須賀市産業交流プラザ

・参加者 延べ214名

・内 容

ヨコスカバレー構想実現委員会・横須賀市 IoT 推進ラボ定例会において毎回 3～4 件のプレゼンテーションを実施。プレゼン内容を一層魅力的で実現可能なものにするためのアイデアを出し合うアイデアソンを 5 回開催した。

e CEATEC2019 の出展

・期 日 10/15～10/18 (会期 4 日間)

・場 所 幕張メッセ

・内 容

横須賀市 IoT 推進ラボとしてブース出展。「よこすか猿島ハッカソン」・「ろぼてユニット×女子美術大学アイデアソン」の動画をブースのモニターで終日再生するとともに、会期中毎日ハッカソン・アイデアソン活動成果のプレゼンテーションを行った。

イ 産業経済に関する研修会、講習会の開催（研修事業）

支出額 9,603,090 円

(ア) 産学交流セミナー・フォーラムの開催

横須賀市に立地している企業や大学の知的資産を活用し、産学連携を促進するため、産学交流セミナーの開催とともに、環境・新エネルギー、ICT 分野に関するフォーラム等を開催して産学官連携の意義を広く周知した。

a 産学交流セミナーの開催

防衛大学の協力を得て市内中小企業の経営の参考となるセミナーを開催し、延べ 189 名が参加した。

・期 日 7/5・9/7・12/7(全 3 回)

・場 所 横須賀市産業交流プラザ

・主 催 (公財) 横須賀市産業振興財団

・後 援 横須賀市 (全 3 回)

・対象者 企業経営者、技術者及び市民

・内 容

第 1 回 「みんなが知りたい自衛隊のしくみ」

今さら聞けない？自衛隊・防大のこと♪

防衛大学校 防衛学教育群 戦略教育室 准教授 中澤信一

(参加者 77 名)

第 2 回 「明治維新を横須賀から考える」

— 地域社会の動きを題材に —

防衛大学校 人文社会科学群 人間文化学科 准教授 三村昌司

(参加者 61 名)

第 3 回 「宇宙開発の基礎と宇宙ゴミの脅威」

防衛大学校 システム工学群 航空宇宙工学科 教授 田中宏明

(参加者 51 名)

b 横須賀市研究機関研究者交流会

三浦半島地域に集積している研究機関のネットワークを強化するとともに、研究者間の課題を共有し連携することで、新技術の開発、新産業の創出及び産業集積の促進を目指す研究者同士が交流する場として開催した。

・期 日 7/31・12/16 (全 2 回)

・場 所 神奈川県立保健福祉大学、横須賀市産業交流プラザ

・主 催 (公財) 横須賀市産業振興財団、横須賀市

- ・内 容
- 第 1 回 神奈川県立保健福祉大学の紹介（研究事例紹介等）
交流会
(参加者 30 名)
- 第 2 回 EV の普及に関する取り組みと災害時の活用について
交流会
(参加者 23 名)

c 産学連携フォーラムの開催

第 9 回医工連携 MDF チタン研究会の開催

- ・期 日 令和元年 11 月 8 日（金）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・内 容
市内中小企業が持つ MDF（多軸鍛造）技術によって、純チタンの硬度と粘度を向上させ、歯科学分野における活用・実用を図る研究会を非公開で開催した。
- ・参加者 27 名（市内中小企業、大学研究職）

(イ) 新春経済講演会の開催

新聞やテレビで活躍する講師により、激動する日本経済が直面している諸問題を豊富な経済知識で分析し、これからの日本経済の展望について新しい年の経営指針となる講演会を開催した。

- ・期 日 令和 2 年 1 月 24 日（金）
- ・場 所 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
- ・主 催 横須賀商工会議所、横須賀市、(公財)横須賀市産業振興財団、(公社)横須賀青年会議所、横須賀工業振興（協）、横須賀三浦労働基準協会、横須賀運輸港湾振興会、三浦商工会議所
- ・後 援 神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター
- ・講 師 中林美恵子（早稲田大学社会科学総合学術院 教授
米国マンスフィールド財団名誉フェロー）
- ・内 容 「日本とアメリカの政治・経済 ～日本外交と経済への影響～」
- ・参加者 229 名

(ウ) プログラミング研修の開催（ICT 関連）

将来の ICT 人材を育成するため、主に横須賀市内在住・在学の小学生～中学生の他、社会人や主婦・主夫を対象に「ヨコスカバレー構想実現委員会」の事業と連携して実施した。

a プログラミング講座「V チューバー技術を学ぶ講座」の開催

- ・期 日 7/6・7/7（全 2 回）
- ・主 催 (公財) 横須賀市産業振興財団
- ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会
- ・協 力 ヨコスカバレー構想実現委員会プログラミング研修ユニット
(株) ステップ
- ・運 営 ヨコスカデザインラボ
- ・対象者 中学校 1 年生
- ・講 師 RGBK 代表 浅野丈
artcode 代表 柳澤竜也

- ・内 容 2D アニメーションソフトを使用して顔イラストを制作し参加者が作成したオリジナルゲーム空間の中で顔イラストを動かす基本操作を体験することでプログラミングの楽しさと基礎を学ぶ講座
 - ・参加者 12名
- b プログラミング講座「ゲームキャラクターを動かそう！」の開催**
- ・期 日 8/10・8/11（全2回）
 - ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
 - ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会
 - ・協 力 ヨコスカバレー構想実現委員会プログラミング研修ユニット
（株）ステップ
 - ・運 営 ヨコスカデザインラボ
 - ・対象者 中学校2年生
 - ・講 師 Section8 Visual Design Studio 代表 中山貴啓
artcode 代表 柳澤竜也
 - ・内 容 3D コンピュータグラフィック制作ソフトを活用し、人型のキャラクターを制作した上で、参加者が作成したオリジナルゲーム空間の中で動かす基本操作を体験することでプログラミングの楽しさと基礎を学ぶ講座
 - ・参加者 9名
- c プログラミング講座「3D キャラクターを作ろう！」の開催**
- ・期 日 令和元年9月7日（土）
 - ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
 - ・後 援 横須賀市、横須賀市教育委員会
 - ・協 力 ヨコスカバレー構想実現委員会プログラミング研修ユニット
（株）ステップ
 - ・運 営 ヨコスカデザインラボ
 - ・対象者 小学校4年生
 - ・講 師 Section8 Visual Design Studio 代表 中山貴啓
artcode 代表 柳澤竜也
 - ・内 容 3D コンピュータグラフィック制作ソフトを活用し、人型のオリジナルキャラクター制作を体験することでプログラミングの楽しさと基礎を学ぶ講座
 - ・参加者 12名
- d ヨコスカプログラミングスクール（3DSを使ったプログラミング教室）の開催**
- ・期 日 8/31・11/23（計2回）
 - ・場 所 16Startups
 - ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
ヨコスカバレー構想実現委員会プログラミング研修ユニット
 - ・後 援 横須賀市・横須賀市教育委員会
 - ・運 営 タイムカプセル（株）
 - ・対象者 小学校1年生から小学校6年生
 - ・講 師 タイムカプセル（株） 代表取締役 相澤謙一郎
タイムカプセル（株） 成田心
 - ・内 容 ニンテンドー3DSを使用し、ダウンロードソフトウェアを教材としてプログラミング言語「BASIC」を学ぶワークショップ
 - ・参加者 延べ30名

e ヨコスカプログラミングスクール（こどもパソコン Ichigojam を使ったプログラミング教室）の開催

- ・期 日 8/31・11/23（計2回）
- ・場 所 16Startups
- ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
ヨコスカバレー構想実現委員会プログラミング研修ユニット
- ・後 援 横須賀市・横須賀市教育委員会
- ・運 営 タイムカプセル（株）
- ・対象者 小学校1年生から小学校6年生
- ・講 師 タイムカプセル（株） 代表取締役 相澤謙一郎
タイムカプセル（株） 成田心
- ・内 容 こどもパソコン Ichigojam を使用し、運営企業が作成したゲームアプリを教材にプログラミング言語「BASIC」を学ぶワークショップ
- ・参加者 延べ24名

f プログラミング研修（YOKOSUKA WEB デザインスクール）の開催

- ・期 日 11/26・12/17・1/28・2/25（全4回）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
ヨコスカバレー構想実現委員会プログラミング研修ユニット
- ・後 援 横須賀市
- ・運 営 タイムカプセル（株）
- ・対象者 社会人・主夫・主婦
- ・講 師 タイムカプセル（株） 代表取締役 相澤謙一郎
タイムカプセル（株） 高橋結里
タイムカプセル（株） 田中光
タイムカプセル（株） 吉田健二
- ・内 容 「Photoshop」、「Wordpress」、HTML を活用してホームページやブログの作成方法やデザイン・カスタマイズ技術を学ぶ講座
- ・参加者 10名

(エ) 創業セミナーの開催

a 創業セミナー＜特定創業支援等事業＞

創業の意欲を持つ人に対して、創業の心構えや創業に必要なノウハウを系統的に学び、創業支援機関からの創業支援メニュー紹介や全員参加型のブレインストーミングを含む研修を特定創業支援等事業として年2回実施した。

【前期創業セミナー】

- ・期 日 6/23・6/30・7/7・7/14・7/21・7/28＜全6回＞
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・主 催 （公財）横須賀市産業振興財団
- ・共 催 （株）日本政策金融公庫、横須賀市、横須賀商工会議所、（公財）神奈川産業振興センター、神奈川県信用保証協会、（株）横浜銀行、かながわ信用金庫 湘南信用金庫
- ・協 力 （株）ビックカメラ、京浜急行電鉄（株）、神奈川県事業引継ぎ支援センター

- ・テーマ ①「事例から学ぶ創業成功のポイント」(6/23)
②「金融機関職員が教える創業のポイント」(6/30)
③「売れる仕組みづくり」(7/7)
④「人を雇うときのルール(労働保険・社会保険等)」(7/14)
⑤「創業を応援する支援制度の紹介」(7/21)
⑥「ビジネスアイデアを磨く(ブレインストーミング)・参加者交流会」(7/28)
- ・講師 中小企業診断士 飯島伸博(①、⑥)
(株)日本政策金融公庫国民生活事業南関東創業支援センター 所長寺田博史(②)
中小企業診断士 佐々木光弘(③)
社会保険労務士 鈴木江美(④)
当財団所属中小企業診断士 石井健次、堀込孝繁(⑤、⑥)
- ・参加者 28名(特定創業支援等事業による確認書発行要件充足者18名)

【後期創業セミナー】

- ・期 日 10/29・11/5・11/12・11/19・11/26・12/3<全6回>
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共 催 (株)日本政策金融公庫、横須賀市、(公財)神奈川産業振興センター
- ・後 援 横須賀商工会議所、神奈川県信用保証協会、(株)横浜銀行
かながわ信用金庫、湘南信用金庫
- ・協 力 京浜急行電鉄(株)
- ・テーマ ①「事例から学ぶ創業成功のポイント」(10/29)
②「金融機関職員が教える創業のポイント」(11/5)
③「売れる仕組みづくり」(11/12)
④「人を雇うときのルール(労働保険・社会保険等)」(11/19)
⑤「ビジネスアイデアを磨く(ブレインストーミング)・創業を応援する支援制度の紹介」(11/26)
⑥「創業体験者とのパネルディスカッション・参加者交流会」(12/3)
- ・講師 中小企業診断士 飯島伸博(①)
(株)日本政策金融公庫横浜支店国民生活事業 融資第三課長 本田昌彦(②)
中小企業診断士 佐々木光弘(③)
社会保険労務士 鈴木江美(④)
神奈川県よろず支援拠点 横須賀サテライトコーディネーター 大野順弘(⑤)
当財団所属中小企業診断士 石井健次、堀込孝繁(⑤、⑥)
- ・パネラー Lavie FP事務所 代表 西村ゆかり(⑥)
ねこ先生の整体院 金子聡文(⑥)
- ・参加者 24名(特定創業支援等事業による確認書発行要件充足者14名)

b 女性のための開業スクール

女性が初期投資を抑えたリスクの少ない起業ができるよう創業ノウハウのポイントや経験者の事例を学び、交流するイベントを開催した。

- ・期 日 令和元年11月16日(土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・主 催 (公財)横須賀市産業振興財団
- ・共 催 横須賀市、(株)セイウン

・内 容

(a)第1部 私の開業体験談「こんな仕事で開業しました！」

コーディネーター：(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司

開業体験談発表者：handicraft shop lana×lana 代表

衣笠伸通り商店街協同組合 理事 柳瀬美咲

プロが明かす「開業成功のツボ」

講師：(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司

(b)第2部 公開コンサルティング「私はこんな仕事を始めたい！」

コーディネーター：(株)ウィザライズ 代表取締役 高久裕司

(同) PDCA デザイン 代表 櫃間霞

開業希望者①：姉妹でコインランドリーと歯のホワイトニングを始めたい

開業希望者 久保田典子・小泉明子

開業希望者②：趣味で始めている洋裁教室をビジネス展開したい開業希望者

石原陽子

(c)第3部 開業支援ツールのご紹介

紹介者①：(株)IBJ 営業2部 部長 杉山達哉

紹介者②：(株)クレディゼン営業推進事業部 神奈川支社法人営業課 漆原彩日

神奈川支社法人営業課 畑山みき

紹介者③：アイロワークス(有) 代表取締役 千葉理恵子

紹介者④：京浜急行電鉄(株)生活事業創造本部三浦半島事業開発部課長補佐 伊藤麻衣

紹介者⑤：フォトグラファー 越中正人

紹介者⑥：(株)セイウン 横須賀市産業交流プラザ 館長 三浦恒郎

・参加者 24名

c こども起業体験

11/2・11/3の2日間 LIDRE 横須賀他横須賀中央地区で開催された「横須賀トモダチジャス」イベントに合わせ「アントレチャレンジ2019 in よこすか」と銘打って、こどもがチームを作って出店する起業体験を実施した。計画づくりから会社設立、事業計画立案、試作、市場リリース、決算書作成などを体験することで、こどもの時期から創業意識を醸成する機会を提供した。

・期 日 8/3・8/4・8/25・9/15・9/29・10/27・11/2・11/3・11/17 (計9回)

・場 所 横須賀市産業交流プラザ、16Startups、LIDRE 横須賀

・主 催 アントレチャレンジ2019 in よこすか実行委員会、(公財)横須賀市産業振興財団

・共 催 ヨコスカバレー構想実現委員会起フェスユニット

・後 援 横須賀市、(株)日本政策金融公庫

・運 営 (一社)ウィルドア、ミテモ(株)

・講 師 竹田和広((一社)ウィルドア共同代表理事・ヨコスカバレー起フェスユニットリーダー)

飯田一弘(ミテモ(株)取締役・ヨコスカバレー起フェスユニットリーダー)

・内 容 8/3・8/4・8/25・9/15・9/29・10/27

自己紹介、チームビルディング、出店内容の決定、事業計画作成、投資家へのプレゼンテーション、出資決定、定款作成、株主名簿作成、司法書士による指導、仕入(買い出し)、店舗備品作成など

11/2・11/3

出店、店舗設営、仕込み、販売、振り返り、現金有高帳の作成

11/17

決算報告会、株主総会、交流会、貸借対照表と損益計算書の作成、株主総会の準備、ワークショップ、会社解散、修了証授与

・参加者 12名(高校生7名、中学生5名)

(オ) スタートアップオーディション

新たな事業領域を自らの創意工夫で切り開くビジネスプランを募集し、審査・公表を行った。

- ・募集期間 4/15～5/24（令和元年度中に市内で実施するビジネスプラン）
- ・1次審査 5/27～6/6（応募者13名の申請書を審査員が書面審査し、5名を選出）
- ・2次審査 6/29（公開プレゼンテーション形式で最終選考会を行い、入選者5名を選出）
- ・場所 横須賀市産業交流プラザ
- ・主催 （公財）横須賀市産業振興財団
- ・共催 横須賀市、総務省、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
- ・応募者 13名
- ・入選者

（株）横須賀ヘリテージ 代表取締役 竹下貴斗

「新製品「SOY 餃子 [和] Vegan Gyoza[英]」販売開始」事業
（ベジタリアンやヴィーガンの方向けに大豆ミートで作った餃子を販売する事業）

（株）玄洋堂興産 代表取締役 井出玄一

「クリエイティブ宿泊事業・・・グランピングホテル【ザ・キャラバントリップ・ナハマ】事業

（長浜海岸で釣り・BBQなどのアクティビティを楽しめる宿泊可能なトレーラーハウス運営事業）

（株）銀翼の森 代表取締役 丸山径子

「人生100年時代の暮らし方提案 新スキーム【小規模自律型サービス付き高齢者向け住宅】」事業

（中古アパートをリフォームしてサービス付き高齢者向け住宅として運営する事業）

特定非営利活動法人ファミリア 理事長 高橋嘉誉

「エビデンスに基づいて成長に導く IT 活用個別指導特化型福祉事業」

（知的障害と発達障害の子供を、家族に対し成長段階に合わせた療育のための IT プログラムを用いて、子供・保護者・地域の活性を図る福祉事業）

（株）SOURCE OF SPIRITS 代表取締役 大森大

「横須賀からオリンピック選手を!!! Jr アスリート・アスリートが伸びる街、横須賀プロジェクト!」事業

（Jr アスリート・アスリートチーム・学校の部活動チームなどに体力データをセンサーを使用して計測し、アプリでデータ化して提供することで、各人に合わせたトレーニングメニュー提案を行い、アスリートのパフォーマンス向上を図る事業）

- ・審査員 5名（金融機関職員、中小企業診断士、大学准教授等）

ウ 産業経済情報の収集及び提供（情報提供事業）

支出額 745,355 円

(ア) 情報の収集及び提供

産業交流プラザの情報図書室において、来館者に経済情報等を提供した。

(イ) ホームページ・SNS（Facebook）による情報発信

セミナー・イベントの告知や相談窓口の紹介などの情報発信を行った。

エ 産業経済に関する調査研究（調査・相談事業）

支出額 6,827,751 円

（ア）産学官連携推進事業

市内中小企業が研究開発を伴う事業に取り組む際に、大学や研究機関との橋渡しを行う他、企業間連携促進のために産学官コーディネーターを1名配置して個別案件を支援した。

- ・氏名 木皿直規
- ・稼働日数 延べ100日
- ・支援実績 個別支援対象事業所・団体に対して大学・研究機関の研究者や連携企業を継続的に仲介した他、研究開発力向上のためのアドバイスを行った。また、各種展示会出展によるコーディネート機能向上のための情報収集を行った。

（イ）産業技術相談事業

a 産業技術相談

中小製造事業所の技術課題に対応するため、県機関や金融機関職員と連携して個別訪問を行い、技術的なアドバイスとともに表彰制度や補助金など公的支援策の紹介を行った。

- ・期間 平成31年4月から令和2年3月（原則として毎月1回）
- ・企業数 12社
- ・訪問者 神奈川県立産業技術総合研究所（KISTEC）職員、金融機関職員、
神奈川産業振興センター（KIP）職員、当財団職員等

b IoT導入支援

工業・商業・農業・漁業の4分野に対して、IoT導入により生産性、利便性向上を図るため、ニーズのヒアリング、勉強会の開催や実証実験の実施などIoT導入支援に向けた活動を行った。

- ・期間 平成31年4月から令和2年3月
- ・内容
 - 工業分野 ニーズヒアリング訪問4回
現地視察3回
研修会・事例紹介・IoT説明4回
 - 商業分野 ニーズヒアリング訪問2回
実証実験1回
実証実験提案1回
 - 農業分野 現状ヒアリング訪問4回
現地視察3回
座談会2回
 - 漁業分野 市内企業が取り組むIoT機材試作状況のヒアリング2回

（ウ）メンタルヘルス相談事業

中小企業が独自に設置・実施することが困難な職場のメンタルヘルス対策を担うため、悩みやストレスを抱えて働いている人及びその管理者・経営者・家族を対象に「働く人の相談窓口」を開設した。

- ・期間 平成31年4月から令和2年3月（原則として毎週水曜日）
- ・相談者数 相談者26名（男性12名、女性14名） 延べ126回（平均4.8回/1名）
- ・相談員 （公財）横須賀市産業振興財団事業担当・産業カウンセラー 市川一郎
- ・内容 ハラスメントを含む職場の人間関係 14名、就職・転職・復職・休職 10名、
家族問題 2名

(エ) 商工相談事業

市内中小企業の経営課題に対し、商工相談員が個別に課題解決に向けたアドバイスを行った。

- ・相談件数 27件
- ・相談員 中小企業診断士(12件)、税理士(7件)、行政書士(4件)、弁護士(3件)
弁理士(1件)

オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供(福利厚生事業)

支出額 16,300,439円

(ア) 会員の概要

	市 町	年度当初	増	減	年度末
会員数	横須賀市	1,232	131	176	1,187
	逗子市	24	2	2	24
	三浦市	25	3	0	28
	葉山町	6	0	1	5
	計	1,287	136	179	1,244
事業所数	横須賀市	159	5	11	153
	逗子市	8	0	1	7
	三浦市	6	0	0	6
	葉山町	2	0	0	2
	計	175	5	12	168

(イ) 自己啓発・余暇活動事業

会員の自己啓発や余暇活動をサポートし、会員・家族のQOL向上を目指す事業を、独自企画事業に加えて県内各サービスセンターや神奈川県労働者福祉協議会との共催で行った。また、福利厚生事業を全国展開している㈱ベネフィット・ワンと契約し、多様なサービスを提供した。

a 潮干狩り大会

- ・期 日 令和元年5月18日(土)
- ・場 所 走水海岸
- ・参加者 57名

b ステンドグラス教室

- ・期 日 令和元年5月25日(土)
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 8名

c 「開国花火大会」観覧クルーズ

- ・期 日 令和元年8月3日(土)
- ・場 所 久里浜沖
- ・参加者 35名

d TDRパークファンパーティー

- ・期 日 令和元年12月8日(日)
- ・場 所 東京ディズニーランド「ショーベース」
- ・参加者 17名

e 全労済セミナー「笑いながら、人生を学ぶ！FPと落語家のコラボセミナー」

- ・期 日 令和元年12月21日（土）
- ・場 所 横須賀市産業交流プラザ
- ・参加者 22名

f 大人の恋活パーティー（県内他団体合同事業）

- ・期 日 令和2年2月15日（土）
- ・場 所 ティキティキ横浜店
- ・参加者 男性31名、女性35名（カップル成立8組）

g さつまいも掘り・みかん狩り・いちご狩り・レモン摘み取り

- ・期 間 令和元年9月14日～令和元年11月10日（さつまいも掘り）
令和元年10月20日～令和元年11月30日（みかん狩り）
令和2年1月8日～令和2年2月29日（いちご狩り）
- ・場 所 津久井浜観光農園（さつまいも掘り・みかん狩り・いちご狩り）
ファーマーシーガーデン浦賀（レモン摘み取り）
- ・参加者 111名

h 各種利用券補助

- | | | | |
|---------------------|--------|-----------------|------|
| ・ジェフグルメカード | 1,530枚 | ・ユネッサン入場券 | 61枚 |
| ・おんり～ゆ～他日帰り温泉チケット | 195枚 | ・潮干狩り（走水、江川海岸） | 84枚 |
| ・TDR コーポレートプログラム利用券 | 181枚 | ・ホテルランチ、ディナー券 | 368枚 |
| ・すこやかん他スポーツ施設チケット | 385セット | ・横須賀恐竜パークチケットほか | 86枚 |
| ・ハーゲンダッツミニカップギフト券 | 53枚 | | |

i 文化教養（演劇、歌謡などの鑑賞券補助）

- ・場 所 よこすか芸術劇場ほか
- ・内 容 松竹大歌舞伎 ほか
- ・利用枚数 77枚

j 委託事業（ベネフィット・ワン）

- | | | | |
|------------|--------|-----|--------|
| ・宿泊施設 | 41件 | | |
| ・スポーツ | 925件 | | |
| ・レジャー&エンタメ | 396件ほか | 合 計 | 2,415件 |

(ウ) 健康の維持増進事業

会員が健康の維持増進のために行うスポーツの施設利用割引や、人間ドック・がん検診、インフルエンザワクチン接種などに補助をした。

a スポーツ施設利用補助（再掲）

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ・横須賀市健康増進センター「すこやかん」 | 184セット（1セット10枚） |
| ・横須賀市サブアリーナほか3件「温水プール」 | 160セット（1セット11枚） |
| ・横須賀市総合体育会館ほか3件「施設使用」 | 41セット（1セット11枚） |

b インフルエンザワクチン接種補助

- ・補助対象 会員と登録している家族、計3名まで
- ・利用者 556名

c 人間ドック・健康診断オプション「がん検診」補助

- ・補助対象 会員本人
- ・利用者 79名

d 家庭用常備薬あっせん

- ・利用者 53名

(エ) 情報提供事業

会員に季刊誌等を通じて、サービス・イベント情報を発信するとともに、未加入事業所に「ひとびとみうら」の事業内容についてPRし、加入促進に努めた。

a 「ひとびとみうらセンターだより」の発行

- ・発行時期 4月・7月・11月・2月（計4回）
- ・発行部数 6,300部
- ・内容 運営状況、イベント広報ほか

b 「ひとびとみうらイベントニュース」の発行

- ・発行時期 平成31年4月から令和2年3月（計7回）
- ・発行部数 2,100部
- ・イベント広報ほか

(2) 収益事業等

ア 「ひとびとみうら」会員に対する祝い金や見舞金など慶弔金の給付（慶弔給付事業）

支出額 6,244,781円

(ア) 会員の概要

P12「オ 中小企業等勤労者への福利厚生サービスの提供（福利厚生事業）（ア）会員の概要」のとおり

(イ) 在職中の生活安定事業

会員とその家族に祝い金や見舞金など広範な慶弔給付事業を実施した。

- ・結婚、出産、子の小学校・中学校入学、永年勤続の祝金
給付額(結婚 10,000円、他 5,000円) 219件
- ・休業、住宅災害、後遺障害の見舞金
給付額(5,000円～25,000円) 18件
- ・会員、配偶者、子、親死亡による弔慰金
給付額(5,000円～100,000円) 39件

イ 横須賀市内の特定中小企業者に対する経営改善支援（経営改善支援事業）

支出額 1,940,758円

(ア) オーダーメイド企業研修の受託

中小企業の要望に応じて、委託企業の経営課題に対応したテーマを設定し、経営コンサルタントを派遣。

- ・受託件数 5件（延べ16回）

- ・内 容 「酒販売店在庫の販売方針立案支援」 (3回)
- 「総菜製造・小売事業者の店舗販売戦略立案支援」 (1回)
- 「眼鏡販売店の売上向上施策支援」 (4回)
- 「酒販売店の認知度向上施策支援」 (3回)
- 「仕出し弁当屋の収益改善計画立案と計画実行支援」 (5回)

(イ) 企業訪問調査・相談事業

市内中小企業の経営革新や創業者の経営拡大を支援するため、当該課題に適した専門家を派遣した。

- ・期 間 平成31年4月から令和2年3月まで年間を通じて実施
- ・企業数 16事業者 (16回)
- ・訪問者 中小企業診断士、Webデザイナー

2 役員会等の概要

(1) 役員に関する事項 辞任・就任等の異動なし

(2) 役員会等に関する事項

ア 平成30年度事業及び決算等の監査 令和元年5月20日

イ 理事会

- ・令和元年度第1回理事会 令和元年6月4日
 - 第1号議案 「平成30年度(2018年度)事業報告及び決算について」
 - 第2号議案 「定時評議員会の招集について」
- ・令和元年度第2回理事会 令和2年3月12日
 - 第1号議案 「令和2年度(2020年度)事業計画について(決議の省略による)」
 - 第2号議案 「令和2年度(2020年度)収支予算について(決議の省略による)」

ウ 評議員会

- ・令和元年度第1回評議員会 令和元年6月28日
 - 第1号議案 「平成30年度(2018年度)決算について」
- ・令和元年度第2回評議員会 令和2年3月27日
 - 第1号議案 「令和2年度(2020年度)事業計画について(決議の省略による)」
 - 第2号議案 「令和2年度(2020年度)収支予算について(決議の省略による)」